

# 美郷物産館 観光拠点に

吉野川市美郷峠の美郷物産館が右肩上がりに売り上げを伸ばしている。好調な売り上げは地域を活気づ

け、新たな特産品や観光ルート作りを後押し。美郷地区の観光振興の拠点になっている。

## 特産品販売が好調



市美郷峠

観光の拠点になっている美郷物産館―吉野川

物産館は、旧美郷村が合併半年前の二〇〇四年三月に開設。住民が持ち寄った梅干しなどの特産品を販売するほか、山菜採りなどのイベントも開催している。運営は指定管理者の美郷商工会で、市からの委託料は年二百万円。

年間売り上げは、〇四年度に約千二百六十万円だったのが、〇五年度約千六百八十万円、〇六年度約千八百八十万円、〇七年度約二千三百五十万円と年々増加。客数は〇七年度末までで延べ約六万六千八百人上った。

山川地区から国道193号で美郷地区に入ってすぐの玄関口に建てられたこと

## 開設4年 商品開発など推進

が奏功。道を尋ねに立ち寄る人も多く、観光案内所の役割も果たしている。梅の花やホタル観賞に訪れる人が増えたことで、売り上げも増加した。

物産館内にある美郷商工会も、健康をキーワードに観光ルートや特産品開発を進める「キレイのさと美郷」プロジェクトを推進。ほかにも、全国初の梅酒特区を国に提案し、近く「美郷梅酒勉強会」も発足させるなど、地域活性化の中心となっている。

商工会の高木義経経営指導員は「今後の課題は、市から委託料をもらわない自主運営の確立。リピーターや新たな客を獲得するための商品の充実や、観光情報」のさらなる集約などが「必要になる」と話している。